

研 究 発 表 会 開 催 通 知

(平成元年5月15日～6月30日)

研 究 会	日 時		会 場	備 考
ヒューマンインタフェース	5月15日(月)	13:00～17:00	機械振興会館	前号参照
情 報 シ ス テ ム	5月15日(月)	13:30～17:00	同 上	同 上
マイクロコンピュータと ワークステーション	5月16日(火)	13:30～17:00	同 上	同 上
データベース・システム	5月18日(木)	10:30～17:00	情 報 大	同 上
コンピュータビジョン	5月18日(木)	13:00～18:00	豊橋技科大	同 上
知識工学と人工知能	5月18日(木) 5月19日(金)	13:00～17:00 13:00～17:00	機械振興会館	同 上
ソフトウェア基礎論	5月18日(木) 5月19日(金)	13:00～17:00 9:00～12:00	豊橋技科大	同 上
マルチメディア通信と分散処理	5月19日(金)	9:00～17:30	NTTプラザ 松山	同 上
自然言語処理	5月19日(金)	9:30～17:00	三田国際ビル アネックス	同 上
人文科学とコンピュータ	5月19日(金)	10:00～17:00	国立民族学 博物館	同 上
アルゴリズム	5月22日(月)	13:30～16:50	機械振興会館	同 上
設 計 自 動 化	5月23日(火)	13:00～16:30	同 上	同 上
ソフトウェア工学	5月30日(火)	13:30～17:00	同 上	同 上
情 報 学 基 礎	6月2日(金)	9:00～17:30	同 上	下記参照
記 号 処 理	6月2日(金)	13:00～17:00	慶 大	同 上
オペレーティング・システム	6月9日(金)	9:45～17:00	機械振興会館	同 上
プログラミング言語	6月13日(火)	14:00～17:00	同 上	同 上
アルゴリズム	6月23日(金)	13:00～17:10	名 大	同 上
ソフトウェア工学	6月27日(火)	13:30～17:00	機械振興会館	同 上
マイクロコンピュータと ワークステーション	6月27日(火)	13:00～17:00	同 上	同 上
自然言語処理	6月29日(木) 6月30日(金)	9:30～17:00 9:30～17:00	琉 球 大	同 上

◆ 第13回 情報学基礎研究会

(発表件数：8件)

(主査：藤原 譲，幹事：有川節夫，岩野和生，吉田郁三)

日 時 平成元年6月2日(金) 9:00~17:30

会 場 機械振興会館 地下3階 1号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町, 浅草線大門, JR：浜松町下車, バス：渋谷ー東京タワー線
東京タワー, 渋谷ー東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

—9:00~12:00—

議 題 特集：ハイパテキスト・ハイパメディアの是非を通じてデータをしっかり捉える

(1) ハイパテキストのデータモデル 西尾信彦(東大)

〔概要〕 ハイパテキストシステムが基盤とするデータモデルをいくつか提示し, その表現力の限界などを比較考察する。

(2) ハイパメディアにおける情報間の関係付けについて 原 良憲, 笠原 裕(日電)

〔概要〕 ハイパメディアの情報リンクと, DB スキーマとの対応について考察し, 電子ブックへの適用を述べる。

(3) ダイナミック・ハイパメディア・システム 小野 眞(日本IBM)

〔概要〕 動的データをハイパメディアシステム内で管理する手法を提案し, CAI を例にその有効性を検討する。

(4) 知的検索を目指した Concept Browser 木内伊都子, 畠山 敦, 大木 優, 藤澤浩道(日立)

〔概要〕 情報の収集・整理における人間側の特性を考慮した情報の格納・検索方法について, 実例を含めて報告する。

—13:00~17:30—

(5) プレーンテキスト/ハイパテキスト間の変換

土井美和子, 福井美佳, 山口浩司, 岩井 勇(東芝)

〔概要〕 既存のプレーンテキストの構造化とハイパテキストの整形とについて, 自動レイアウトシステムを例に説明する。

(6) Towns GEAR の開発 上田 順, 坂詰 仁(富士通パソコンシステムズ)

〔概要〕 ハイパメディアソフトウェア「Towns GEAR」の紹介, 開発の背景および技術的解説を行う。

(7) データ管理機能を強化した Hyper Card システム 石塚英弘, 大島雅行(情報大)

〔概要〕 Hyper Card にディレクトリと索引を付加することによってデータ管理機能を強化し, ジャズレコード検索システムに適用した。

(8) カード操作エディタとその応用 大岩 元, 河合和久, 竹田直彦(豊橋技科大)

〔概要〕 KJ法を目的として開発したカード操作エディタの使用経験について報告する。

(9) General Discussion

◆ 第53回 記号処理研究会

(発表件数：3件)

(主査：中西正和, 幹事：小谷善行, 多田好克)

日 時 平成元年6月2日(金) 13:00~17:00

会 場 慶應義塾大学 理工学部

〔横浜市港北区日吉 3-14-1, 東急東横線：日吉下車, 徒歩15分, 理工学部校舎(矢上台). Tel. 044 (63) 1141〕

(1) Lisp における国際文字処理方式に関する技術的諸問題 —ISO LISP における文字処理規格の一提案—

黒川利明(日本IBM), 湯浅太一(豊橋技科大), 橋本ユキ子(日電)

梅村恭司(NTT), 伊藤貴康(東北大)

〔概要〕 ISO LISP における国際文字処理規格として, 国内の SC 22/LISP WG において審議され, ISO WG に報告された提案を, 技術的問題点を中心に報告する。

(2) 格文法を用いた LOGO の改良 井井公治 (慶大)
 (概要) 可換性多意性を持った式を処理するために格文法を用いて出現順序に依存しないで処理をする LOGO の処理系を試作しその長所を考察する.

(3) AI 電卓における記号処理の可能性 中西正和, 前田敦司, 田添英一 (慶大)
 (概要) AI 電卓の LISP の評価を行う.

◆ 第 43 回 オペレーティング・システム研究会 (発表件数: 8 件)
 (主査: 亀田壽夫, 幹事: 川島幸之助, 村松 洋)

日 時 平成元年 6 月 9 日 (金) 9:45~17:00
 会 場 機械振興会館 6 階 65 号室 (所在地は前記参照)
 —9:45~12:00—

議 題 小特集: オンライン・トランザクション処理 (5 件)

(1) 高信頼度オンライン・トランザクション・システム 宮島 明 (日電)
 (概要) オンライン・トランザクション・システムの高信頼化をホットスタンバイ機能により可能とする技法について述べる.

(2) オンライン高速履歴情報取得制御方式 松沢尚光 (日立)
 (概要) 金融機関の第 3 次オンラインシステム構築に対応した高性能と運用の改善を目標とする履歴情報取得方式について.

(3) OLTP とフォールトトレランス 渡辺栄一 (タンデムコンピュータズ)
 (概要) OLTP システムに不可欠なフォールトトレランスの機能につき, GARDIAN という O/S を例にして述べる.

—13:00~14:30—

(4) オンライン処理の性能評価とその標準化について 北岡正治, 田中 茂 (富士通)
 (概要) オンライン処理の性能についての最近の状況と, 米国における性能評価方法の標準化の動向について報告する.

(5) ある特定条件下のシステムオーバーヘッド低減による性能向上の例 屋敷田広美 (東芝)
 (概要) OLTP の処理能力を OS 側から調査・評価し, オーバヘッドを改善することで能力を 2~3 倍向上させた.

—14:45~17:00—

一般講演 (3 件)

(6) マルチプロセッサにおける分散ファイル管理方式 井村佳弘, 谷口秀夫, 遠城秀和 (NTT データ)
 (概要) マルチプロセッサ上で実現した分散ファイルシステムについて, その機能, 処理方式を述べる.

(7) 異種 OS を結ぶ分散ファイルシステム 谷口秀夫, 遠城秀和, 箱守 聡 (NTT データ)
 (概要) 異種 OS の間を同形式の木構造によるファイルシステムで結ぶ方式について報告する.

(8) 可変構造型並列計算機の並列/分散オペレーティング・システム 福田 晃, 福澤祐二, 廣谷良彰, 村上和彰, 末吉敏則, 富田眞治 (九大)
 (概要) われわれが開発している「可変構造型並列計算機」OS の構想, 密結合型マルチプロセッサ用 OS の概要を述べる.

◆ 第 21 回 プログラミング言語研究会 (発表件数: 4 件)
 (主査: 筧 捷彦, 幹事: 上田和紀, 徳田雄洋, 戸村 哲)

日 時 平成元年 6 月 13 日 (火) 14:00~17:00
 会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)
 議 題

(1) 汎用計算機上の KL1 処理系 平野喜芳, 中越靖行, 西崎慎一郎, 宮崎芳枝 (富士通 SSL)

宮崎敏彦 (沖電気), 近山 隆 (ICOT)

〔概要〕 KL1ソフトの開発用ツールとして KL1 処理系-PDSS を開発した. この処理系の実現方式を中心に説明する.

(2) 変換記述言語 TDL の表現能力とその記述例 栗野俊一 (早大)

〔概要〕 言語の記述対象を変換系専用にすることによって得られる利点と制限について, 具体例を挙げて説明する.

(3) プログラミング言語のためのソフトウェアデータベースについて 石原博史, 徳田雄洋 (東工大)

〔概要〕 プログラミング言語のためのソフトウェアデータベースについて, 現状の問題点を検討する.

(4) OZ: オブジェクト指向開放型分散システム —オブジェクト指向型分散処理言語—

塚本享治 (電総研), 田中伸明 (松下電器), 近藤貴士 (シャープ), 吉江信夫 (住友電工)

〔概要〕 コネクションレス型 OSI ネットワークに接続された異機種計算機上で稼働するオブジェクト指向型の分散処理言語を開発した.

◆ 第8回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 野崎昭弘, 幹事: 今井 浩, 中村勝洋, 西関隆夫)

日 時 平成元年6月23日(金) 13:00~17:10

会 場 名古屋大学 大型計算機センター 演習室

〔名古屋市千種区不老町, JR 東海: 名古屋下車, 地下鉄: 東山線藤ヶ丘行にて本山下車, 南へ徒歩10分.

Tel. 052 (781) 5111〕

議 題

(1) 推移的閉包を求めるアルゴリズムのならし計算量(II) 平田富夫, 島谷隆司, 稲垣康善 (名大)

〔概要〕 推移的閉包を求めるアルゴリズムのならし計算量 (amortized complexity) の解析を行う.

(2) 最速ポロノイ図の逐次添加算法 鈴木敦夫 (南山大)

〔概要〕 与えられた点集合の最速ポロノイ図を平均的にその点数に比例するオーダで構成する算法を紹介する.

(3) 項書換え系における計算の複雑さ (仮) 稲垣康善 (名大)

〔概要〕 表記題目に関する招待講演.

(4) 特殊なコスト構造をもつ割当問題 加藤直樹 (神戸商科大)

〔概要〕 ある特殊なコスト構造を持つ割当問題の最適解の性質について論じる.

(5) Clustering/Hashing Points in the Plane with Maximin Criteria

浅野哲夫 (大阪電通大), 今井 浩 (九大), 今井桂子 (九工大)

〔概要〕 点集合の判別, 二つのハッシュ関数から一つのハッシュ関数を求める問題に対する算法を与える.

(6) 3rd Symposium on Complexity of Approximately Solved Problems の報告 中野秀男 (阪大)

〔概要〕 標記シンポジウムの報告.

* 研究会の終了後, 懇親会を予定しておりますのでふるってご参加ください.

◆ 第66回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 永田守男)

日 時 平成元年6月27日(火) 13:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

議 題

(1) システム設計における仕様検証の一手法 手島文彰 (東芝)

〔概要〕 有限状態機械モデルに基づいた製品テストの自動化手法, およびその適用事例について述べる.

(2) データとコントロールフローを分離したプログラミング (セパレートプログラミング)

金井 敦 (NTT)

〔概要〕 データと制御フローを分離することにより、記述性・再利用性を向上させる新しいプログラミング方式を提案する。

(3) 連想型オンラインマニュアル Pop-Doc 田中正樹, 押見正雄, 岡部 啓 (CSK 総研)

〔概要〕 連想型オンラインマニュアル Pop-Doc の構成とその応用, およびマニュアル作成ツールについて述べる。

(4) 哲学者の食事問題の LOTOS による記述実験

大蒔和仁 (電総研), 五反田隆広, 小野昌秀, 佐藤嘉一 (沖電気), 藤田朋生, 新田 徹 (日電)

田中功一 (三菱電機), 堀田英一 (NTT), 五ノ井敏行 (富士通)

内山光一 (東芝), 島田明広 (シャープ)

〔概要〕 プロトコル記述言語 LOTOS を用いて哲学者の食事問題を幾つかの方法で記述した。それをもとに LOTOS によるプログラミングの経験を述べる。

◆ 第56回 マイクロコンピュータとワークステーション研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 若鳥陸夫, 幹事: 氷治義弘, 森本陽二郎, 山田 剛)

日 時 平成元年6月27日(火) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 1号室 (所在地は前記参照)

議 題

(1) 32ビットマイクロプロセッサ TX1 とそのシステム開発環境 石丸秀一 (東芝)

〔概要〕 TRON 仕様準拠の MPU である TX1 の特徴及びそのシステム開発を支援する開発環境や実行環境を詳述する。

(2) 32ビットVシリーズ用ソフトウェア開発環境 橋本一也, 堂田政志 (日電)

〔概要〕 オリジナルマイクロプロセッサ・V60/70/80 用ソフトウェアの開発環境について紹介する。

(3) 新マイクロプロセッサ H32 とその開発環境 加藤肇彦, 茶木英明 (日立)

〔概要〕 TRON 仕様のマイクロプロセッサ H32 の概略とその開発環境, ならびに Cコンパイラの開発技術について述べる。

(4) μ ITRON 仕様リアルタイム OS の開発 坪田秀夫 (三菱電機)

〔概要〕 当社オリジナル1チップおよび32ビットマイクロプロセッサ用リアルタイム OS の仕様および特徴について述べる。

(5) CASE ツール「HP Teamwork」 米澤 穣 (横河ヒューレットパカード)

〔概要〕 開発の上流工程を支援する CASE の背景となる手法と, その自動化ツール「HP Teamwork」を紹介する。

◆ 第73回 自然言語処理研究会

(発表件数: 17件)

(主査: 田中穂積, 幹事: 田中裕一, 徳永健伸, 内藤昭三)

日 時 平成元年6月29日(木) 9:30~17:00

6月30日(金) 9:30~17:00

会 場 琉球大学 工学部

〔沖縄県中頭郡西原町字千原1番地, 那覇空港よりバス: 那覇ターミナル下車 (10分), 那覇ターミナルからバス: 琉球大学行き (40分). Tel. 09889 (5) 2221(代表)〕

議 題

(1) 文脈自由文法の並列構文解析 峯 恒憲, 谷田倫一郎, 雨宮真人 (九大)

〔概要〕 意味処理と構文処理とが並列・協調して動作するモデルの実現のための並列構文解析アルゴリズムを提案する。

(2) 例文からの文法獲得に基づく日本文インタフェース構築ツール

杉山高弘 (日電), 吉田宗弘, 町田和浩, 三枝克広 (NSIS), 和田 孝 (日電)

- 〔概要〕 既存システムに簡単に日本文 IF を結合できる構築ツールを開発、文法登録と文解析・生成手法および有効性を示す。
- (3) 国語辞典からの動詞の上位-下位関係の抽出 富浦洋一, 日高 達 (九大), 吉田 将 (九工大)
〔概要〕 動詞を第1階の述語に対応させ、動詞間の上位-下位関係を国語辞典の見出し語と語義文の関係から抽出する。
- (4) 接続関係に基づく中国語辞書データの収集 朱 美英, 内田裕士 (CICC)
〔概要〕 大規模な KWIC を利用し、接続条件による束縛を用いて、未知語の文法属性を推定する方法について述べる。
- (5) 電子化辞書開発支援システム 内田裕士 (EDR)
〔概要〕 電子化辞書の開発において辞書データの検証や自動学習のために使用している辞書開発支援システムを紹介する。
- (6) 語と語の関係について―‘に’について― 田中康仁 (姫路短大), 吉田 将 (九工大)
〔概要〕 語と語の共起関係について、特に‘に’についての研究内容を発表する。朝日新聞 84 日分の KWIC よりデータを抽出した。
- (7) 未登録語を含む文の一解析法 塚田孝則, 小柳和子 (日立 SK)
〔概要〕 構文解析アルゴリズム SAX を拡張し、未登録語が含まれる文についても解析できるアルゴリズムを考案した。
- (8) 比喩を含む言語理解における視点の役割 岩山 真, 徳永健伸, 田中穂積 (東工大)
〔概要〕 視点付き表現の理解に基づいて、リテラルな文、比喩、非文を区別しない統一的な言語理解の枠組を提案する。
- (9) 共起関係データの蓄積と利用のための基礎実験 松本一則, 黒岩真吾, 鈴木雅実, 榎 博史 (KDD)
〔概要〕 共起関係を実例から蓄積し、解析に利用する手法をいくつか試みた。各手法とその解析性能の変化について報告する。
- (10) 日本語文の読みの嗜好のモデル化 島津 明, 内藤昭三 (NTT)
〔概要〕 日本語文の読みの嗜好に関して、チャート解析法に基づく方略を報告する。
- (11) 日本語の移動の制約とその計算機上での実現について
―チョムスキーのバリアー (1986) の観点から― 柳田優子 (Cornell University), 奥村 学, 田中穂積 (東工大)
〔概要〕 本研究では、日本語の移動とその制約に関して論じる。さらに、この制約を採り入れたパーザについて述べる。
- (12) 常識を用いた日本語連体修飾節の意味解析 佐藤龍一, 田中穂積 (東工大)
〔概要〕 常識的知識を効率よく利用し、推論をおこないなから日本語の連体修飾節の意味解析をおこなう手法を提案する。
- (13) 中間言語表現の一方法について 池田尚志, 井佐原均, 石崎 俊 (電総研)
〔概要〕 発話の意味内容 (命題的内容 + それに対する話者の認識態度 + 発話態度) を表現する中間言語表現の方法についての一考察を示す。
- (14) 機械翻訳システムの間言言語 村木一至, 亀井真一郎, 野村直之 (日電)
〔概要〕 ピボット方式の機械翻訳システムの間言言語について述べる。特に関係概念体系および構造的側面について詳述する。
- (15) 多言語間機械翻訳用辞書の開発手法 市山俊治, 野村直之 (日電)
〔概要〕 対訳関係に基づく概念素設定手法と、概念素を中心にした多言語間翻訳用辞書の開発手法について述べる。
- (16) Prefix-Closed B-Tree 鐘 征, 中村貞吾, 日高 達 (九大)
〔概要〕 任意に与えられた文字列のすべての最左部分語が一時に検索できる大容量の機械辞書向きデータ構造を提案した。

(17) 意味計算

赤間 清 (北大)

〔概要〕 認識の逐次更新過程を広範囲かつエレガントに扱う PAL/TALK 上の自然言語の意味計算の方法について述べる。

- * 今回の研究会は電子情報通信学会 (NLC 研究会) との共催で開催されます。上記会告は 4 月 20 日現在の申込みによるもので、プログラムは暫定的なものです。上記期日以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌の 5 月号に掲載されますのでご了承ください。

◆ アルゴリズム研究会

「離散アルゴリズムと計算複雑度に関するインタナショナル ワークショップ (International Workshop on Discrete Algorithms and Complexity)」の論文募集

第 12 回 の研究会を、情報処理学会九州支部、電子情報通信学会 (コンピューターション研究会) との共催で下記のとおり開催いたします。離散アルゴリズムと計算複雑度などについて、海外から多くの参加者も予定し、幅広く議論を行います。多くの方々の参加をお待ちします。(なお、当日の発表は英語で行います。)

日 時 平成元年 11 月 20 日 (月)・21 日 (火)・22 日 (水) 各日 9:00~17:00
(第 1 日目に懇親会を予定しています。)

会 場 福岡リーセントホテル (812 福岡市東区箱崎 2-52-1 Tel. 092 (641) 7741)

トピックス グラフ・ネットワークアルゴリズム, データ構造, 計算複雑度, 計算理論, 計算幾何学, 計算代数学, 計算論理学, 分散アルゴリズム, 並列アルゴリズム, データベース理論, VLSI アルゴリズム等。

実施方法 1. 英文論文 (8 ページ以内) ※ 仕上り B 5 判 (発表件数は 24 件程度予定)
2. 英文 abstract (1000 word 以内) を 8 月 1 日 (火) 必着で提出願います。

送付先 812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部 情報工学科 今井 浩
Tel. 092 (641) 1101 (内 5408) FAX 092 (641) 1825

◆ オペレーティング・システム研究会

特集: 並列・分散オペレーティングシステム

第 45 回 研究会は、最近特に注目されている並列・分散処理環境におけるオペレーティングシステムについての特集を中心といたします。積極的にご応募くださるようお願いいたします。

会 期 平成元年 11 月 10 日 (金)・11 日 (土) (第 1 日目に懇親会を予定しています。)

会 場 宇都宮大学工学部

発表申込 学会所定の発表申込用紙にご記入のうえ、下記までお願いします。
(7 月 31 日 (月) 締切)

連絡先 321 宇都宮市石井町 2753
宇都宮大学工学部 情報工学科 馬場敬信
Tel. 0286 (61) 3401 (内 708 馬場または 709 吉永) FAX 0286 (63) 2014

◆ 数値解析研究会

第 2 回 研究会の開催場所が下記のとおり決定いたしました。発表ご希望の方は、6 月末日までに発表申込用紙に発表題目と 50 字以内の概要等を記入のうえ、学会事務局研究会担当までお申し込みください。

日 時 平成元年 10 月 7 日 (土)

場 所 名古屋大学 工学部

◆ 情報学基礎研究会

第 14 回 研究会の開催月日会場を下記のとおりに変更いたします。

会 期 平成元年 7 月 27 日 (木)

会 場 国立教育会館 (東京)

特集 フルテキスト・データベースのご利益はどこにあるか？

発表をご希望の方は、**5月19日（金）**までに研究会発表申込書に発表題目と50字以内の概要を記入のうえ、学会事務局研究会担当までお申込みください。

情報検索サービスのつぎの展開方向として話題になっているフルテキスト・データベースについて作る側と使う側の人それぞれからの活発な議論を期待いたしております。奮ってご参加ください。

◆ **ソフトウェア工学研究会**

第68回 研究発表会は9月26日（火）、京大で開催の予定です。

発表ご希望の方は、研究会発表申込書に発表題目と50字以内の概要を記入して、**6月末日**までに、学会事務局研究会担当までお申し込みください。

「情報処理ハンドブック」の予約申込について

3月号本欄でお知らせしたとおり、面目を一新した新版の「情報処理ハンドブック（B5判、1,620ページ）」を、来る5月末に発行いたします。

目次は次のとおりです。詳細は前号巻末綴込のパンフレットを参照ください。

計算の理論、システム解析の基礎、数値解析、ハードウェア、計算機アーキテクチャ、オペレーティングシステム、データ工学、コンピュータネットワーク、プログラミングの基礎、プログラミング言語の記述と処理系、ソフトウェア工学、人工知能、高水準インタフェース技術、システム論、応用システム、教育、規格と資料。

つきましては、会員に限り下記により予約特価で受付けております。締切が迫りましたので早急にお申込みください。なお、送本は6月末頃となる見込みですが、ご了承ください。

記

定 価 33,990 円（本体 33,000 円）

予約特価 26,800 円（送料込）

申込締切 **5月31日**（6月1日以降は受付けません。6月以降の会員購入価格は6月号本欄にてお知らせします。）

申込方法 前号巻末添付の予約申込専用郵便振替用紙にてご送金ください。なお、現金または銀行送金の場合にも、必ず上記振替用紙を使用し、下記あて同時にご送付ください。また、請求書が必要な場合は、あらかじめ書面によりお申出ください。ただし、5月末日までに入金いただけるものだけに限り受け取りますので、期日にご留意ください。

問合せ先 情報処理学会「情報処理ハンドブック」係 Tel. 03 (505) 0505

なお、申込後に送本先を変更する場合は、はがきにて早急にご連絡ください。

創立 30 周年記念論文の公募について

情報処理学会では創立 30 周年を記念して、下記により「記念論文」を公募中です。会員の皆さまは奮って応募されますようご案内いたします。

1. 応募資格

情報処理学会の会員（正会員，学生会員，海外会員）であること。共著可。

2. 論文の性格と書き方

ア. 情報処理に関するオリジナルな論文であること。

イ. 論文は邦文または英文とする。

ウ. 邦文論文は「情報処理学会論文誌原稿執筆案内」、英文論文は「欧文誌 JIP 原稿執筆案内」の書き方にそれぞれよることとするが、制限ページはいずれも刷り上り B5 判 12 ページとする。したがって英文論文の場合「欧文誌 JIP 原稿執筆案内」には“刷り上り 1 ページは、通常のテキストでは 1,000 語程度”とあるが、本記念論文の場合は 620 語程度となるので注意のこと。ただし、論文はできるだけ簡潔にまとめることが望ましい。

3. 応募方法

ア. 正論文 1 部およびコピー 5 部を提出すること。

イ. 応募論文の第一ページ標題の左肩に「創立 30 周年記念論文」と明記すること。

ウ. 締切 1989 年 8 月 31 日

エ. 送付先 〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3 F
(社)情報処理学会事務局 「創立 30 周年記念論文係」

4. 応募論文の取扱い

ア. 応募論文は記念論文査読委員の査読結果に基づき、拡大論文誌編集委員会を受賞論文の候補を決定する。原則として論文を著者に照会することはしないが、受賞決定後に執筆について助言することがある。

イ. 記念論文選定委員会は 10 編を限度として受賞論文を選定する。受賞論文のうち、特に優秀なもの 3 編以内を入选論文とし、そのほかを佳作論文とする。

ウ. 選定結果は「創立 30 周年記念式典」において公表し、受賞論文の表彰をおこなう。

エ. 受賞論文は「創立 30 周年記念学会誌」に掲載し、また「1990 年後期全国大会」において講演発表する。

オ. 受賞しなかった論文は著者の希望により一般論文扱いとする。

5. 表彰

ア. 受賞論文のすべての著者に対して表彰状および記念品を授与し、受賞論文ごとに賞金を授与する。

イ. 受賞論文 1 編につき論文別刷 100 部を贈呈する。

6. その他

不明の事項については、本学会事務局に問い合わせること。

平成元年度 第31回 通常総会の開催について

平成元年度通常総会を下記によって開催いたします。ぜひご出席ください。

なお、総会の案内状は、正会員各位に4月下旬別途郵送いたしました。ご欠席でまだ委任状を出されていない方は早急にご返送ください。

記

日 時 平成元年5月18日(木) 16:00~17:30

会 場 機械振興会館ホール(地下2階)

- 総会次第
1. 会長のあいさつ
 2. 昭和63年度事業報告および決算報告
 3. 平成元年度事業計画および予算審議
 4. 昭和63年度功績賞の発表と表彰
 5. 昭和63年度論文賞の発表と表彰
 6. 名誉会員の推挙
 7. 新役員の選定
 8. その他

なお、総会終了後ささやかな懇親パーティ(無料)を行います(会場6階66号室)。会員が一堂に会し、直接にお話できる得難い機会ですので、皆さまのご出席をお待ちしております。

情報処理学会創立30周年記念事業賛助金の募集について

当学会はご存知のとおり、昭和35年4月22日に創立され、来年は創立30周年を迎えるに到りました。

3月号巻頭で詳細にお知らせしたとおり、30周年を記念して国際会議および記念全国大会の開催、記念論文の公募、記念出版、情報処理学会“未来像”の策定、ならびに記念祝典等の事業を計画、推進しております。

つきましては、会員各位が前記事業に積極的にご参加いただくとともに、事業運営に必要な経費2億3,000万円の一部(目標1,500万円)につきご賛助を賜りたく、下記により賛助金を募集いたしておりますのでご協力をお願いいたします。

なお、ご賛同の方の金額・氏名は本誌本会記事欄にて報告いたします。

記

賛助金募集額 1口1,000円 何口でも可

送金方法 前号巻末綴込の専用郵便振込用紙をご利用ください。

募集期間 平成元年4月~平成2年3月、なるべく早めにご送金ください。

学会誌送本先の住所等の変更届について(お願い)

年度の終りから始めにかけては異動期で、会員の住所や所属の変更が殺到いたします。事務処理の誤りを防ぎ能率化するため、勤務先、自宅住所に異動のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙(前号末尾に添付)にて氏名、会員番号を付し、早速にご連絡ください。なお、異動の受付は毎月20日に締切り、翌月号から変更いたします。21日以降受付分の変更は翌々月号からとなります。

第 37 回 全国大会学術奨励賞の表彰

第 37 回 全国大会学術奨励賞は、去る 3 月 15 日～17 日に中央大学理工学部で開催された第 38 回 全国大会の席上、会長から下記 12 君に授与されました。

本賞は昨年 9 月開催の第 37 回 全国大会（於立命館大学）の発表論文を対象に、学術奨励賞委員会（委員長 野口副会長）において表彰規程にもとづき、総発表件数 1,076 件中推薦のあった 75 名の候補者の中から 22 名を選び、さらに慎重審議の結果、12 名が受賞候補者として推薦され、第 330 回 理事会（平成元年 2 月）の承認をえて決定されたものです。

制約伝搬アルゴリズムを用いた日本語文の解析 (3C-6)

丸山 宏君（正会員）

昭和 33 年生。昭和 56 年東京工業大学理学部情報科学科卒業。昭和 58 年同大学大学院理工学研究科情報科学専攻修士課程修了。同年日本アイ・ピー・エム(株)入社。同社東京基礎研究所に所属。論理型言語、自然言語理解、機械翻訳の研究に従事。

DUALS-III における談話処理 (7C-2)

橋田 浩一君（正会員）

昭和 33 年生。昭和 56 年東京大学理学部情報科学科卒業。昭和 61 年同大学大学院理学系研究科博士課程修了。理学博士。同年、電子技術総合研究所入所。パターン情報部推論システム研究室勤務。認知言語学の研究に従事。人工知能、認知科学、絵画、料理などに興味を持つ。AIUEO、認知科学会、ソフトウェア科学会、ACL 各会員。

オブジェクト指向モデルによる OSI 応用層ソフトウェア構成法の一検討 (2E-2)

中川路哲男君（正会員）

昭和 33 年生。昭和 56 年、東京大学工学部電気工学科卒業。昭和 58 年、同電気工学科修士課程修了。現在、三菱電機情報電子研究所システム・ソフトウェア開発部に勤務。OSI 通信ソフトウェアを中心とする分散処理システムの構築およびソフトウェア工学に関する研究・開発に従事。電子情報通信学会会員。

視点を考慮した概念の同一化 (3H-6)

徳永 健伸君（正会員）

昭和 36 年生。昭和 58 年東京工業大学工学部情報工学科卒業。昭和 60 年同大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年(株)三菱総合研究所入社。昭和 61 年東京工業大学大学院博士課程入学。昭和 62 年より同大学工学部情報工学科助手。自然言語処理、知識表現に関する研究に従事。日本ソフトウェア科学会、認知科学会、人工知能学会各会員。

ソフトウェア品質計測／保証技術 (SOMAT) (5K-1)

越 裕美子君（正会員）

昭和 36 年生。昭和 59 年筑波大学第三学群情報学類情報科学科卒業。同年日本電気(株)入社。同社ソフトウェア生産技術開発本部にて、ソフトウェアメトリクスの研究・開発に従事。

密結合マルチプロセッサにおけるキャッシュメモリの一致制御方式に関する一検討 (6N-4)

塩澤 恒道君（正会員）

昭和 37 年生。昭和 59 年群馬大学工学部情報工学科卒業。昭和 61 年筑波大学大学院修士課程修了。現在 NTT 情報通信処理研究所勤務。プロセッサ論理構成の研究に従事。計算機アーキテクチャ、組合せ最適化問題等に興味を持つ。電子情報通信学会会員。

抽象データ型を用いたデータベースにおける高度な表示機能の実現方法 (1Q-1)

有川 正俊君 (正会員)

昭和 37 年生. 昭和 61 年九州大学工学部情報工学科卒業. 昭和 63 年同大学大学院工学研究科修士課程修了. 現在, 九州大学大型計算機センター助手. 地理情報処理, コンピュータグラフィックス, オブジェクト指向データモデルなどの分野に興味を持つ.

胃の 2 次元モデルを用いた二重造影の胃領域の形の予測 (6R-5)

喜多 泰代君 (正会員)

昭和 35 年生. 昭和 57 年筑波大学第三学群基礎工学類卒業. 同年電子技術総合研究所入所. 現在, 同所知能システム部視覚情報研究室に所属. コンピュータビジョンの研究に従事. 電子情報通信学会会員.

複雑な制御構造を持つアルゴリズムからの高速なステートマシン合成手法 (1U-5)

若林 一敏君 (正会員)

昭和 36 年生. 昭和 59 年東京大学工学部精密機械工学科卒業. 昭和 61 年同大学大学院工学系研究科精密機械工学専門課程修士課程修了. 同年日本電気(株)入社. 同社 C & C システム研究所に所属. 論理回路の CAD/DA 技術に関する研究に従事.

高速タイミング検証方式の実現とその効率評価 (3U-7)

米田 友洋君 (正会員)

昭和 32 年生. 昭和 55 年東京工業大学工学部情報工学科卒業. 昭和 60 年同大学大学院理工学研究科情報工学専攻博士課程修了. 工学博士. 助手を経て現在同学工学部情報工学科講師. 計算機システム, 特にフォールトトレラント設計に関する研究に従事. 電子情報通信学会, IEEE 各会員.

PROCEED-DEX 機能マクロ選択エキスパートシステム (5U-2)

中荃洋一郎君 (正会員)

昭和 36 年生. 昭和 58 年, 東京工業大学理学部情報科学科卒業. 昭和 60 年, 同大学大学院理工学研究科修士課程修了. 同年, 日本電気(株)に入社. 現在, 同社 C & C システム研究所にて知識工学の研究に従事. 日本ソフトウェア科学会会員.

表明付き項書き換え系 A-TRS——リダクション戦略の表明——(5Y-10)

布川 博士君 (正会員)

昭和 33 年生. 昭和 58 年山形大学工学部電子工学科卒業. 昭和 63 年東北大学大学院工学研究科博士課程修了. 工学博士. 同年東北大学電気通信研究所助手, 現在にいたる. 関数型言語の基礎理論, 処理系作成技法, プログラミング方法論に興味を持つ. 日本ソフトウェア科学会, ACM 各会員.



WORLD COMPUTER CONGRESS

IFIP CONGRESS '89



San Francisco, California USA • August 28 - September 1, 1989

第 11 回 世界コンピュータ会議出席のおすすめ

第 11 回目にあたる IFIP Congress '89 が、本年 8 月 28 日～9 月 1 日に米国サンフランシスコにおいて、IFIP (情報処理国際連合) と AFIPS (米国情報処理学会連合体) で共催されます。

エレクトロニクスをめぐり、日米間に種々の軋轢が聞かれるときだけに、わが国より一人でも多くの方が参加され、学術交流を通じて国際親善につくされることは誠に意義深いものと存じます。

当学会としては、参加者の皆さまの便宜を図るため、登録手続代行、ホテル予約はもちろん低廉な出席ツアーや視察ツアーを JTB (日本交通公社) を Official Agent として計画しております。わが国から多数の方々に参加されるようご案内いたします。

- 期 日：1989 年 8 月 28 日 (月)～9 月 1 日 (金)
- 会 場：Moscone Center, San Francisco, California USA
- 会議参加費：

	May 2～July 15	July 16 through on-Site
Delegate	\$ 400	\$ 450
Student	\$ 150	\$ 200
Accompanying Person	\$ 100	\$ 150

- 出席旅行

A コース：会議出席短期間 8 月 26 日 (土)～9 月 3 日 (日) 9 日間

旅行代金 300,000 円

(会議中サンフランシスコに滞在するコースです。会議だけに出席の方にはむいてます。)

B コース：会議出席と自由視察 8 月 26 日 (土)～9 月 7 日 (木) 13 日間

旅行代金 310,000 円

(会議中サンフランシスコに滞在后 9 月 2 日～5 日まで自由視察をするコースです。)

C コース：会議出席とアメリカ東部業務視察 9 月 2 日 (土)～9 月 10 日 (日) 16 日間

旅行代金 745,000 円

(会議出席後、コーディネータの先生と、ミシガン大学、ベル研、カーネギメロン大学、MIT、DEC 等を視察し、東部をまわるコースです。)

- ホテルは、当会議のヘッドクォータホテルの<セントフランシスコホテル>を多数確保しております。

詳細な募集要項は、下記までお問い合わせください。

JTB 東京麹町支店 国際会議センター IFIP '89 デスク

102 千代田区麹町 4-3-5 Tel. 03 (239) 9286 担当：大窪・安武



情報処理学会 30 周年記念国際会議 InfoJapan '90



テーマ: Information Technology Harmonizing with Society

1990 年 10 月 1 日～5 日
東京・京王プラザホテル

論文募集

情報処理学会では、創立 30 周年記念事業の一貫として、21 世紀を展望した国際会議を 1990 年 10 月に東京で開催いたします。当学会で行われている 20 余の研究會から下記の 4 セッション・トラック(A)～(D)を選び、世界に論文募集を呼びかけることとなりました。奮って応募ください。

なお、この会議では日本の代表的なプロジェクトおよび日本で盛んに研究されているテーマに関する特別セッションのほか、日本に大きな影響を及ぼしつつある海外の著名研究者、企業家の特別講演も予定されています。

内外から非常に注目される画期的国際学術交流の場として、会員各位の日頃の貴重な研究成果を発表される絶好の機会と存じます。

セッション・トラック

(A) ソフトウェア技術

- 分散処理 OS
- OS の性能・信頼性
- 大衆のプログラミング言語
- 方法論・各種技術

(B) 並列コンピューティング

- コンピュータアーキテクチャ
- アルゴリズム
- ソフトウェア
- 応用

(C) 人工知能

- 基礎理論
- 自然言語理解
- ビジョン
- ツールとその応用

(D) 高度情報システム

- モデリング
- コンピュータ通信
- 分散システム
- 先端データベースシステム
- コンピュータと教育
- コンピュータと人間

特別セッション

- 第 5 世代コンピュータ
- OSI システム
- シグマ計画
- 機械翻訳
- マイクロプロセッサ
- ニューロコンピュータ
- スーパーコンピューティング

組織委員長 山本 卓真 (富士通) 運営委員長 島崎 恭一 (NTT)

プログラム委員会

委員長 石田 晴久 (東大)

委員 安西祐一郎 (慶大) 堂免 信義 (日立) 広瀬 健 (早大) 片山 卓也 (東工大)

松下 温 (慶大) 村上 国男 (NTT) 長尾 真 (京大) 西関隆夫 (東北大)

佐藤 繁 (富士通) 鈴木 則久 (日本 IBM) 田中 英彦 (東大) 植村 俊亮 (東京農工大)

牛島 和夫 (九大)

R. P. Brent (オーストラリア国立大) 金 宗 相 (韓国, ソウル国立大)

H. T. Kung (アメリカ, CMU) C. V. Ramamoorthy (アメリカ, UCB)

N. Seshagiri (インド国立情報学センター) W. Wahlster (ドイツ, ザールランド大)

汪 成 為 (中国, システム技術研究所) C. K. Yuen (シンガポール国立大)

論文募集スケジュール

論文締切日 1990年2月1日
著者への採否通知 1990年5月1日
最終稿提出締切日 1990年7月1日

応募要領

1. 論文及び抄録記述方法

- (1) 使用原稿用紙はA4判またはレターサイズ, ダブル・スペース
- (2) 使用言語は英語
- (3) 論文には演題, 氏名, 所属, 住所, 電話番号, 発表希望のトラックを明記
- (4) 論文の長さは, 演題等を含め3,700~4,500語
- (5) 150語以内の抄録を添付すること

2. 研究発表の提出部数

- (1) 論文 (コピー6部)
- (2) 抄録 (コピー1部)

問い合わせ先

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル
情報処理学会・InfoJapan '90 事務局
Tel. 03 (505) 0505
FAX 03 (584) 7925

論文送付先

113 東京都文京区弥生 2-11-16
東京大学大型計算機センター 石田晴久
Tel. 03 (818) 0287 (直通)
E-mail infojapan90 @ u-tokyo. junet

本会協賛等の行事案内*

講習会「アクチュエータメカニズムはどこまで小さくなるか？」

平成元年6月14日(水)

東京工業大学百年記念館

化学工学協会関西支部開設35周年記念シンポジウム「シミュレーション・予測手法—

化学産業への応用を考える

平成元年7月7日(金)

大阪科学技術センター

講習会「計算機物理学: コンピュータ支援による物理学の新しい展開」

平成元年7月24日(月)~26日(水)

東京・野口英世記念会館

第4回 生体・生理工学シンポジウム

平成元年11月6日(月)~7日(火)

東京・国立教育会館

NICOGRAPH '89

平成元年11月6日(月)~10日(金)

東京・池袋サンシャインシティ, 他

*詳細は本号会議案内欄参照

DA シンポジウム '89 開催案内

設計自動化研究会主催により、DA シンポジウムを下記のとおり開催いたします。本シンポジウムは、従来夏期シンポジウムとして非公開で開催していたものを、'88年より一般公開で行っているものです。DA 研究のさらなる活性化を目的として、企業・大学の枠にとらわれずに研究者相互の交流を図ることを主眼としています。

発表に際しましては予稿集を発行せず、非公開資料によるより立ち入った生の議論ができる場を提供いたします。発表内容は、オリジナルな未発表のものを優先します。研究途上の内容でも、オリジナル度の高いものは歓迎いたします。

また、既発表のものでも新しいデータが得られているもの、より詳細な発表内容の場合は受け付けますので、申込用紙にそのむね明記してください。

日 時	平成元年 9月7日(木) 13:00~9日(土) 12:00
場 所	西浦温泉 南風荘(愛知県蒲郡市西浦町)
参 加 費 (宿泊費含む)	学生 20,000円, 正会員(DA 会員) 22,000円 正会員 24,000円, 非会員 27,000円
募集件数	20件(発表時間 発表20分, 質疑10分)
申込締切	平成元年 7月3日(月)
申 込 先	243 厚木市旭町 4-14-1 ソニー(株)・半導体事業本部 設計技術部 井上 隆秀 Tel. 0462(30) 5343 FAX 0462(30) 5867

DA シンポジウム '89 参加申込書

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____ (DA 研究会会員)

所属 _____

連絡先 〒 _____

Tel. _____ FAX _____

参加方法 聴講のみ 発表予定

題目: _____

(未発表 既発表 _____ に発表)

発表概要 (100字以内): 発表内容の概要を明記してください。特に、既発表の場合は、新たに付け加えた点を明記してください。

プログラミング・シンポジウムについて

第 31 回 プログラミング・シンポジウム開催 (予告)

- 日時** 平成 2 年 1 月 9 日 (火) 午後 1 時～11 日 (木) 正午まで
- 場所** 箱根ホテル小涌園
- 問合せ先** 情報処理学会 シンポジウム係 Tel. 03 (505) 0505
- 発表申込** 9 月 2 日 (土) までに、氏名、所属、連絡先 (E-mail アドレスも)、発表の題と要旨を A 4 判用紙 1～2 枚に書いて事務局宛にお送りください。その採否は 9 月末までにお知らせいたします。発表原稿の締切は 11 月 16 日 (木) です。
- 参加申込** 10 月号に参加申込書を、また 11 月号にプログラムを掲載する予定です。
- 注意**
- (1) 学術論文発表の場というより、多方面の人々の共通の討論の場であり、意見の交換の場であると考えています。
 - (2) 情報処理の健全な発展のために、多数の方々が参加され、とくに利用者の立場から活発に発言されることを期待します。
 - (3) 未完成であっても将来に影響を与えるような話題を歓迎します。
 - (4) ポスタセッションおよびマイコン・ビデオデモなどの場所を用意する予定です。

夏のシンポジウム「コンピュータネットワークの ヒューマンウェア」開催

- 日時** 7 月 24 日 (月) 午後～26 日 (水) 午前
- 場所** 国民宿舎 熱海ビレッヂ (JR 来の宮駅 丹那トンネル入口上です。)
- 定員** 50 名
- 参加費** 20,000 円
- 申込先** 情報処理学会 夏のシンポジウム係
106 港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505 FAX 03 (584) 7925

「コンピュータ通信ワークショップ (JWCC: Joint Workshop on Computer Communications)」の開催について

マルチメディアと分散処理研究会では、下記の要領で国際ワークショップを開催いたします。海外からの研究者も含めて、若手の研究者を中心に、コンピュータ・ネットワーク、分散処理を中心として幅広い分野での活発な議論をおこなうことが目的であります。奮って、ご参加ください。

- 日時** 1989 年 7 月 13 日 (木) 13: 00～7 月 15 日 (土) 12: 00
- 場所** 東京大学工学部講堂
- トピックス** コンピュータ・ネットワーク (LAN/MAN/WAN), OSI, 分散処理, 分散型データベースシステム, マルチメディア通信, 学術ネットワーク, ネットワーク管理とセキュリティ等
- 実施方法**
- (1) 発表論文は、英文とし、発表も英語でおこないます。
 - (2) 論文提出
 - 5 月 10 日 アブストラクト (英文 200 語程度)
 - 6 月 15 日 論文 (英文 A4 で 10 ページ以下のカメラレディなもの)

(3) 国内の研究者に加えて、海外からの参加もあります。特に、大学、企業等で留学、研修されている留学生、研修生の参加を希望します。

(4) 参加費用は、以下のとおりです。

参加費用 20,000 円 (会議参加) 10,000 円 (学生の会議参加)

30,000 円 (会議参加及び宿泊 (2泊))

組織委員長 松下 温 (慶応大)

プログラム委員長 石田晴久 (東大)

論文送付先 113 文京区弥生 2-11-16

東大大型計算機センター 石田 晴久

Tel. 03 (812) 2111 (内 2731) FAX 03 (814) 7279

E-Mail (国内) ishida@u-tokyo. junet

(国際) ishida%u-tokyo. junet@relay. cs. net

申込先 情報処理学会 コンピュータ通信ワークショップ係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

「コンピュータ通信ワークショップ」参加申込書

1989年 月 日

申込者 氏名

氏名の英字表記

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒

Tel.

FAX

E-mail

連絡先の英字表記

表記ワークショップの参加を下記により申込みます。

●参加費 (該当する欄にチェック)

一般及び学生 (2泊3日宿泊込み*) 30,000 円

一般 20,000 円

学生 10,000 円

○送金方法

_____円を_____月_____日送金します。(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ。)

a. 現金書留 (送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会シンポジウム係)

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先_____

(注) 申込書は1枚1人としてください (この用紙のコピー可)。

* 宿泊は、ガーデンパレスを予定しています。

「談話理解モデルとその応用」シンポジウム論文募集

談話理解は自然言語処理の中でも近年活発な研究がなされている領域です。自然言語処理研究会では、談話理解研究の現状を総括するとともに、将来を展望する目的で下記の予定でシンポジウムを開きます。シンポジウムの第2日目には公募論文の発表の場を設けます。談話理解の基礎的な問題から応用にわたって興味深い論文を募集しますので、下記要領により奮って論文投稿をお願いします。

日 時 1989年11月16日(木)～17日(金)
場 所 ATR 自動翻訳電話研究所(京都府相楽郡精華町乾谷・三平谷)

スケジュール

16日(10:00～18:00)

- 招待講演「談話の世界とその計算モデル」 片桐 恭弘 (NTT)
- 招待講演「談話・推論・文脈」 山梨 正明 (京大)
- パネル「応用の立場から見た談話理解モデル」
- ATR 見学
- 懇親会

17日(10:00～17:00)

- 一般講演 公募論文の発表(約8件)

論文の募集要項

1. 発表論文は「談話理解モデルとその応用」に関するものとする。
2. 応募する場合はA4で12ページ以内の論文のコピー4部を8月19日までに提出すること。
3. 論文査読後、採否の決定は9月20日までに連絡する。
4. 論文の最終版はA4で12ページ以内とし、10月20日までに提出すること。

論文提出先 情報処理学会 NL シンポジウム係

106 港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

連絡先 東京工業大学工学部情報工学科 田中 穂積

152 目黒区大岡山 2-12-1 Tel. 03 (726) 1111 (内 3046, 4188)

FAX 03 (729) 1399

Junet: take@cs. titech. junet

※ 参加申し込み等については今後本欄でお知らせいたします。

「グラフィクスと CAD」シンポジウム論文募集

グラフィクスと CAD の研究開発は近年ますます盛んとなり、基礎、応用の両面において多くの興味深い話題を提供しています。当学会では、昭和 58 年から計 6 回標記シンポジウムを開催し、多数の研究者、技術者の参加をえて、有意義な成果を得ることができました。本年度も以下の要領で標記シンポジウムを開催いたします。

グラフィクスと CAD の基礎、応用、ハードウェア、ソフトウェアの全般にわたり、これまでの成果の発表から、新しい手法の提案、今後の展望、先端技術を深く追求するものに至るまで、十分な意見交換や議論の種となるような、先駆的な論文の応募をお願いいたします。

特に今回は、インダストリアル・デザイン (CG, 形状モデル, 入力技術, 応用) に関連した論文を歓迎します。

日 時 1989 年 11 月 21 日 (火)～22 日 (水) 9:00～18:00

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

トピックス (主要なテーマは以下のとおりですが、必ずしもこれらに限りません。)

- グラフィクスの基礎／表示技術, リアリズムの追求, グラフィクス入力, データ構造とデータベース, マン・マシン・インタラクション
- グラフィクス・システム／グラフィクス言語とソフトウェア, グラフィクス・デバイスとワークステーション, システムのモデリング, ラスター・グラフィクス, 標準化
- グラフィクスの応用／アニメーションとアート, ビジネス・グラフィクス, 文書や画像の処理, 応用事例
- CAD／設計方法論, 形状モデリング, 図面の入力と処理, エンジニアリング・データベース, インテリジェント CAD, システム構成法, 応用事例

- 実施方法**
- (1) 完成された研究論文のみでなく、問題提起、新しい試み、提案など、いろいろな性格の論文を歓迎する。
 - (2) 論文概要 (和文 A 4 判用紙 1 枚 (1,000～1,500 字)、連絡先等明記のこと) により、採否を決定する。
 - (3) 採択されたものは、本論文 (本学会研究会原稿用紙にて 10 枚以内) を提出していただきます。なお、カラーページの使用が可能です。(詳細はお問合せください。)
 - (4) 採択された論文は、平成 3 年度の研究賞の対象となります。
 - (5) スケジュール

論文概要締切 7 月 10 日 (月)

採択論文決定、通知 8 月 10 日 (木)

本論文締切 10 月 10 日 (火)

申込先 情報処理学会 グラフィクスと CAD シンポジウム係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

第3回「利用者指向の情報システム」シンポジウム論文募集

～情報システムの計画・分析・設計・評価の方法論と適用事例～

情報システムが社会に急速に普及し浸透している今日、利用者指向の情報システムをいかに実現するかが重要な課題となっている。特に、組織体の総体から見た情報システムの計画・分析・設計など、システムインテグレーションの方法論や、客観的な評価手法などについては、理論的な研究も実際のな応用事例も少なく、体系的な議論が不足している。

以上の観点から、本シンポジウムでは、利用者指向の情報システムの計画・分析・設計・評価の方法論、ならびに、その具体的な適用事例や研究動向などを展望し、幅広い立場から討論をおこないたい。この問題に関心を持つ情報システムの設計者、開発・運用担当者、利用者、管理者およびこの分野の研究者からの論文を募集する。

日 時 1989年12月8日(金)～9日(土) 10:00～17:00

場 所 東京大学山上会館 (113 東京都文京区本郷 7-3-1)

- 利用者や管理者のニーズの発掘方法、開発者と利用者のコミュニケーション手段
- 情報システムの分析、モデル化、設計の手法やツール (CASE を含む)、およびその適用事例

トピックス

- システムインテグレーションにおける諸問題
- 情報システムの開発の進め方、プロジェクトマネジメントの手法
- 情報システムの品質、利用者からみた情報システムの評価
- 情報システムの各開発工程における評価の尺度、評価手法
- 情報システムの設計段階や運用段階における品質管理
- その他 (関係要員教育、……)

実施方法

- (1) 学術的な研究論文のみでなく、経験事例の報告、問題提起、アイデアの提案などの論文も歓迎する。
- (2) 応募する場合は、アブストラクト (A4判用紙で1枚) を7月11日(火)までに提出すること。
- (3) 採否の決定は、8月15日(火)までに連絡する。
- (4) 本論文は原則として和文 (1,548字詰研究会原稿用紙10枚以内) とし、10月31日(火)までに提出すること。採択論文については、論文集に収録する予定である。

申込先

(社)情報処理学会「利用者指向の情報システム」シンポジウム係
106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

問合せ先

本シンポジウムに関するお問合せは、下記までお願いします。
情報処理学会・情報システム研究会 幹事 鷹野 澄 (たかの きよし)
113 東京都文京区弥生 1-1-1 東大地震研究所 Tel. 03 (812) 2111 (内 5807)

平成元年度各種行事の予定について

5月以降の主な行事予定は以下のとおりです。詳細は順次本欄にてお知らせします。なお、期日・会場が変更されることもありますので、ご注意ください。

行 事	期 日	会 場
第31回 通常総会	5・18(木)	機械振興会館
第39回 全国大会	10・16(月)～18(水)	九州工業大学
第40回 全国大会	平成2年 3・13(火)～16(金)	早大理工学部
平成元年電気・情報関連学会連合大会(共催)	平成元年 9・5(火)～7(木)	早大理工学部
~~~~~		
(シンポジウム)		
コンピュータ通信ワークショップ	7・13(木)～15(土)	東大理工学部講堂
1989年夏のシンポジウム	7・24(月)～26(水)	熱海ビレッジ
第22回 情報科学若手の会 学習のパラダイムとその応用	(未 定)	(未 定)
マルチメディア通信と分散処理	11・6(月)～7(火)	機械振興会館
談話理解モデルとその応用	11・16(木)	〃
グラフィクスとCAD	11・16(木)～17(金)	ATR
コンピュータ・システム	11・21(火)～22(水)	機械振興会館
アドバンスト・データベース・システム	11・28(火)～29(水)	〃
	12・7(木)～8(金)	京都リサーチパーク サイエンスセンタビル
利用者指向の情報システム	12・8(金)～9(土)	東大山上会館
教育における新しい方法	12・14(木)～15(金)	機械振興会館
第31回 プログラミング・シンポジウム	平成2年 1・9(火)～11(木)	箱根・ホテル小涌園
(講習会)		
AI 技術を使用した CAD システム	6・5(月)	機械振興会館
立体視技法とその最先端技術	9・29(金)	〃
(共 催)		
第20回 画像工学コンファレンス	12・12(火)～14(木)	ABC 会館ホール
1990 情報学シンポジウム	平成2年 1・17(水)～18(木)	日本学会会議講堂
(国際会議共催)		
IFIP WG 10.2 Working Conf. on the CAD Systems Using AI Techniques	6・6(火)～7(水)	東大山上会館
3rd. Int'l. Conf. on Computer Applications in Production and Engineering	10・2(月)～5(木)	京王プラザホテル
1st. Int'l. Conf. on Deductive and Object-Oriented Databases	12・4(月)～6(水)	京都リサーチパーク サイエンスセンタビル

## 新年度にあたって（お願い）

### ——会費・購読費の納入、新会員勧誘など——

新年度にあたって、会員の皆さまに会費等の納入のお願いとともに、つぎの点につきご確認ください、あわせてご協力のほどお願いいたします。

#### （１）平成元年度の会費および論文誌・欧文誌購読費の納入

新年度から会費を改定いたしました。４月下旬に会費および購読費の納付書（郵便振替用紙）を送付いたしましたので、早急にご納入ください。また、預金口座振替の会員は**５月 29 日**（月）に自動振替いたしますので、ご注意ください。

なお、平成２年度会費から預金口座自動振替を希望する会員（正会員に限る）は、所定の**預金口座振替依頼書**（平成元年度会費払込依頼書と同封）によりお申込みください。

#### （２）大学学部卒業予定の学生会員の会費

本年３月に大学学部卒業予定の学生会員には、平成元年度会費は正会員（9,600円）として請求いたしました。大学院修士課程に進まれた方は、学生会員として継続できますので、会員番号を付し、大学院名・研究科名・専攻名、修了予定年月および学会誌の送本先を変更する場合はその宛先等を必ずご連絡ください。

#### （３）退 会

書面（様式任意、はがき可）にてお申出ください。なお、63年度会費が未納の場合には、昨年４月以降送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求いたします。

また、63年度会費未納者には、これまで再三にわたり請求いたしております。納付いただけない場合には、本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

#### （４）学会誌の送本先変更

勤務先、自宅住所に異動のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙（４月号、10月号に添付）にて会員番号を付し、早速にご連絡ください。

#### （５）論文誌・欧文誌の新規購読

論文誌（月刊）および欧文誌（季刊）は有料頒布です。購読を希望する会員は前号本欄添付の申込書を使用して、お申込みください。

### 新入会員勧誘のお願い

新年度は入会に絶好のチャンスです。３月号末尾綴込みの入会申込書で、入会をご勧誘ください。なお、会費等は下記のとおり改定されましたので、ご注意ください。

正 会 員 費	9,600円
賛助会員費（1口）	50,000円
学生会員費	4,800円
海外会員費	5,700円
正会員入会金	2,000円
学生会員入会金	不 要

## 支部だより

### 情報処理学会東北支部大会講演募集

——平成元年度電気関係学会東北支部連合大会——

- 期 日** 平成元年 8月 24日(木), 25日(金)  
24日(木) 午前:一般講演・技術報告  
午後:一般講演・技術報告, 特別講演 夜:懇親会  
25日(金) 一般講演・技術報告  
24, 25日の両日 展示会(計測機器, 電子通信機器, 電力機器他)
- 会 場** 日本大学工学部(福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地, JR 郡山駅より, 福島交通バス日大または徳定行き 日大下車)
- 講演内容** 一般講演 各専門分野で最近行った研究の発表  
技術報告 各専門分野で最近行った工事報告, 現場実験報告, 新製品の紹介等, 特に現場に直結した実験研究の発表  
講演者は, 主催学会会員に限る. 連名の場合は会員外を含むことも差支えない. 講演時間は, 1件15分以内(討論時間を含む)とする.
- 申込方法** (1) 「講演申込書」は申出により「原稿用紙1,600字」「原稿の書き方」と共に渡す. 郵送希望の場合は1部175円(2部以上の場合は1部増すごとに75円増)の郵送料を添えること.  
(2) 一般講演及び技術報告の予稿集はオフセット印刷とするので, 必ず所定の原稿用紙を使用すること.  
(3) 申込件数の制限は1名2件までとする. ただし連名は差支えない. 内容が著しく不適当と思われる場合講演を制限する場合がある.  
(4) 発表者は講演申込と同時に必ず講演申込金として1件につき3,000円を添えて申込むこと.  
(論文集代, 別刷50部代を含む)  
(5) OHPを講演各室に準備する.(希望によりスライドも可)
- 申込・原稿締切日** 7月7日(金) 必着厳守(申込書と原稿を同時締切とする)
- 論文集** 発表者には, 大会当日受付にて配布する. 購入希望者は, 所要部数を早めに申込むこと(1部2,500円, 郵送希望の場合は, 郵送料1部510円)
- 申込・問合せ先** 980 仙台市荒巻字青葉 東北大学工学部電気情報系学科内 電気関係学会東北支部連合事務局  
Tel. 022 (222) 1800 (内 4321) 庄司
- 懇親会** 8月24日(木) 18:00~ 場所 郡山市内 会費 3,000円  
申込は当日大会会場で受け付けます.
- 宿 泊** とくに幹施しない.



## 第20回画像工学コンファレンス論文募集 —Japan Imaging Technology '89—

画像工学コンファレンスは、1970年に第1回が開催されてから今回で20回を迎えることになりました。その間、関連学会・研究会の共通の研究発表・討論の場として、日本の画像関係の研究開発に大いに寄与してまいりました。本年は第20回を記念して21世紀への対応を考えると共に新たな発展を期し第20回画像工学コンファレンスを開催することにいたしました。

各関連学会・研究会の会員諸氏からの積極的な発表・応募をお願いします。

**日時** 1989年12月12日(火)・13日(水)・14日(木)

**場所** ABC会館ホール(東京・芝公園)

**趣旨** 画像工学は、画像情報を扱う広い分野の技術に支えられ、学術・産業・医療・民生にわたる分野の発展に貢献しております。本コンファレンスは、日頃活動分野を異にする方々が一堂に会して交流を図ることにより、画像工学分野の研究開発およびその応用をさらに活発化することを目的としています。また、本年は20回を記念して、“画像とヒューマンインタフェース”の観点から画像工学の今後の動向を展望することを予定しています。

**構成** 招待講演と、応募による一般講演およびポスタ講演によりおこないます。ポスタ講演はポスタ会場の決められた場所で、図表・写真・実物等を示し、興味を持つ聴衆と自由に質疑・討論を交わしながら研究発表をおこなうものです。招待および一般講演については「募集論文の内容」欄の項目に沿って約10セッションにまとめる予定です。また今回は、特別講演と各分野の将来像に関する招待講演も予定しております。講演はすべてオーディオビジュアル機器などを用いたデモンストレーションができます。なおポスタ講演のなかで優秀な発表に対して賞を贈ります。

**募集論文の性格** 論文として未発表のものに限ります。ただし口頭発表や研究速報などは差支えありません。

**募集論文の内容** 画像の知覚・入力・記録・蓄積・伝送・表示・理解・処理・計測などの基礎・材料・デバイス・システム・方式・応用・評価等に関連する内容を募集対象とします。“画像とヒューマンインタフェース”に関するセッションとして、「画像の知覚と検出」「DA/DTP」「AI応用画像処理」「ハードコピー」「画像表示・ソフトコピー」「医用画像」などを予定しています。これらに関連する論文の応募を歓迎します。

**応募資格** とくにありません。

**応募論文の審査** 応募論文はプログラム委員会において申込時提出の内容概要で審査いたします。また、プログラム編成上、一般講演とポスタ講演との変更をお願いすることがあります。

**講演形式・時間** 一般講演：質疑応答を含め20分(予定) ポスタ講演：ポスタ会場での発表討議90分(予定)

**講演申込方法** A4横書でタイトル・著者・図表などを含め2枚以内の内容概要と、必要事項を記入した講演申込書(コピー可)を下記の送付先にお送りください。

**講演申込締切** 1989年7月5日(水)必着

**論文集原稿** 採択論文については一般、ポスタとも、図・表・写真を含め7000字以内のカメラレディ原稿(タイプまたはワープロ)を提出していただきます。また、希望によりカラー印刷のページを設けます(ただし実費自己負担)。原稿やスライドの作成方法などの詳細は8月中旬、論文採否通知とともに連絡します。

**論文集原稿締切** 1989年10月25日(水)必着

**主催** 第20回画像工学コンファレンス実行委員会

(担当 画像4学会：画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本印刷学会)  
**加盟学会・委員会** 応用物理学会分科会日本光学会、テレビジョン学会、画像表示研究委員会、視覚情報研究委員会、画像通信システム研究委員会、画像処理画像応用研究委員会、電気学会、電子デバイス技術委員会、光子デバイス技術委員会、電子情報通信学会、画像工学研究専門委員会、パターン認識理解研究専門委員会、日本ME学会、画像電子学会、日本写真学会、電子写真学会、日本写真測量学会、情報処理学会・コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会、日本印刷学会、レーザー学会、日本医療情報学会、医用画像情報学会、計測自動制御学会・パターン計測部会、日本非破壊検査協会、日本医用画像工学会、SPIE日本支部。

**送付先・問い合わせ先** 〒105 東京都港区浜松町2-12-14 第2日化ビル 連企画気付

「第20回画像工学コンファレンス事務局」 ☎ 03(433)2543 FAX03(433)2544

<b>題目</b>  	

### 第20回画像工学コンファレンス講演申込書

〒

所在地

機関名

所属

連絡者

氏名

様

<b>講演形式の希望</b> <input type="checkbox"/> ポスタ <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> どちらでも	<b>使用機器</b> <input type="checkbox"/> VTR <input type="checkbox"/> スライド <input type="checkbox"/> OHP <input type="checkbox"/> パソコン <input type="checkbox"/> その他( ) 持込み・借用	<b>☎ :</b>  <b>FAX:</b>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------